昭和中だより
ハートフル昭和
http://www.city.akishima.ed.jp/~showa/

令和７年２月 28 日
第 １２ 号
昭島市立昭和中学校
校 長　　渡部　尚

バス内での出来事

３年前になります。私が脚に大きなケガをして、松葉杖をついていた時の出来事です。

ある日の午後、私は当時の勤務校から出張に行きました。帰る時は雨が降っていて、近くのバス停から立川駅に向かうバスに乗ったところ、車内は帰宅する私立小学校の児童と、ある都立高校の生徒により満車に近い状態になっていました。（小学生２割、高校生８割くらい）

平日のこの時間のバスは、いつも同じような状況なのでしょう。車内の児童・生徒は各々の時間を過ごしていて、個人でスマホを見ていたり、周りの人と会話を楽しんだりしていました。会話は、高校生同士や小学生同士だけでなく、高校生と小学生が会話している様子もありました。私の目の前にいた女子高校生２人も隣の低学年くらいの児童数名と話していて、こんな会話が聞こえてきました。

高校生：「今日は学校で何があったの？」　　小学生：「○○があったよ！」

高校生：「休み時間は何やってるの？」　　小学生：「みんなで○○やってるんだよ～」

高校生：「楽しそうだね～」

この会話はとても自然で、ほのぼのとした柔らかい雰囲気を醸し出していました。

そんな中、私は片手に松葉杖をつき、もう片方の手は吊り革につかまる状態で立っていたのですが、バスの急ブレーキでバランスを崩し、大きくよろけてしまいました。その直後です・・・。後方から、「おい！なんで気付かねえんだよ」「譲れよ！」と、少し厳しめの声が聞こえてきました。声の主は後ろに立っていた男子高校生で、私の隣に座っている高校生たちに言ったのです。ほのぼのとした雰囲気が一瞬、緊張に変わりました。しかし、次の瞬間、周りの高校生たちが次々に立ち上がり、「どうぞ・・・」と言ってくれました。私は厚意に甘え、お礼を言って座らせてもらいました。そしてまた、バス内が柔らかい雰囲気に戻ったのです。

バスに乗っていたのは、たった 20 分程です。しかし、この時のことはずっと私の心に残っています。

小学生に合わせて和やかな会話をしている女子生徒。多少言葉はきつくても、人として正しいことをしようと働きかけてくれた男子生徒。そして、次々に立ち上がって譲ろうとしてくれた生徒たち。このバス内での出来事は素敵なことに溢れていて、私の心は外の雨とは対照的に、とても晴れやかな気持ちになりました。

昭和中学校は、学校だよりのタイトルにもあるように、ハートフルを掲げています。学校や日常の一コマ一コマに、こうした心温まることがたくさんあると良いですね。

３月　行事予定

日	曜	学校行事	日	曜	学校行事
1	土		17	月	卒業式準備
2	日		18	火	卒業式
3	月	生徒会朝礼　保護者会（1年・1組）　都立一次発表	19	水	
4	火	保護者会（２年）	20	木	春分の日
5	水		21	金	給食終
6	木	都立二次・後期出願	22	土	
7	金	笑顔と学びのプロジェクト（3年）　福祉講演会（3年）	23	日	
8	土	学校公開日　（総合学習発表会）	24	月	学年集会　大掃除
9	日		25	火	修了式　離任式
10	月	振替休業日	26	水	春季休業日（始）
11	火	朝礼	27	木	
12	水		28	金	
13	木		29	土	
14	金	卒業式予行練習	30	日	
15	土		31	月	
16	日				

● PTA から「電動スクリーン」を寄贈していただきました！

年々、講演会や保護者説明会、生徒会行事等で、体育館の壁にプロジェクターを使って映像を投射する機会が増えています。しかし、壁への投射は壁の汚れや筋が入ってしまったり、奥に映すため体育館の両サイドからは見えにくかったりする問題がありました。

こうした状況を PTA に相談させていただいたところ、ステージ中央に天井から電動で昇降する大型スクリーンを購入していただきました。すでに生徒たちには生徒会朝礼で活用させていただいたのですが、保護者の皆様には３月８日（土）に予定されている学校公開日「総合学習発表会」でお披露目とさせていただきます。

今後、学校行事や学校説明会、周年行事などでも有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

● 令和７年度より「学校運営協議会（コミュニティスクール）」が発足します。

コミュニティスクールとは、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に定められているもので、地域・家庭・学校が一体となって子供たちの教育を担っていくために、地域の声を学校運営に積極的に生かし、地域の教育力を取り入れていくための組織のことを言います。

昭島市では小中学校で随時スタートしていますが、本校は令和７年度からのスタートとなります。これにより、「社会教育」「家庭教育」「学校教育」がより三位一体となって子供のためにできることを担っていくことになります。また学校だよりで進捗をご報告していきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。